

令和4年度  
自己評価・学校関係者評価（島田南幼稚園）

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	---

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価	自己総合評価	学校関係者評価	
			評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	B	A	明確な指示のある項目の評価は高く、目標を理解し指導するよう抽象的な内容では、やや理解が不十分のようです。今後は具体的に理解を深め、より高い教育内容実現に努めるよう期待します。元気で明るい子どもの成長が評価されています。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	4			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	B	計画に際し、自らの考えを生かした活動がやや不十分のようです。過去の計画や、指導的存在感のある教員の影響が若干強くあるようです。率先し先導する部分を抑え、園の方針を踏まえた上で、保護者ニーズへの対応を考慮した計画立案に挑戦してみたい
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	2			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	3			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	比較的慎重な運営が行われているようです。その結果一定の評価となる一方で、新しい企画が実行されにくい環境が整い、特別な事前準備が行われないことが評価されています。コロナ禍での制約の段階的排除により、興味を持てる活発な活動に期待したい。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	2			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	A	A	健康安全に関する評価は、教職員の協力により確実に実行され、感染防止や事故の減少に顕著な成果を上げています。教職員自らの健康管理にも意識が高く評価されています。今後は、事故発生時の対応に加え、不審者対応についても、特に考慮したい。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	4			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	4			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	3			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	4	B	A	子ども中心に、一人一人の気持ちを理解し楽しい幼稚園を実行する姿が伺え、安心感があります。今後は、一層丁寧な対応と教師としての品格を高め保護者の信頼を確固たるものとするよう期待します。遊びと共に、保護者の要望に答えることも必要です。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	3	C	B	コロナ禍での研修は、不便であると共に内容理解の点でも難色を理解します。自らの研究心を高め、自己研鑽に努めることが求められます。日頃の活動に於ける疑問や探究心は、自らを成長させると考え、研修内容を選択し、積極的な参加を期待します。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	3			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	B	B	教職員として、幼稚園を代表する意識の高さが、保護者との信頼関係を強くしていることが評価出来ます。長年実施している「キッズ・くらぶ」については、再考が必要であるよう評価されています。時代に即した内容の提案を早急に求めます。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	3			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	3			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	2			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	A	昨年の課題としたコスト意識について、多くの協力により改善方向にあり、一定の効果が評価されています。一つ一つの課題を意識し改善する活動が大切です。業務のマンネリを打破し、新たな活動が実行出来る環境を整えるよう、一層の努力を願います。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	4			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	4			

令和5年3月25日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に3月11日に評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会  
委員長 町 淳子

